

タヒチヌイトラベル発 タヒチプチ情報

2010年7月23日発信

イアオラナ！現地旅行社タヒチヌイトラベルが発信する、タヒチのプチ情報です。

皆様こんにちは！

今シーズン初めての鯨が、タヒチ島で目撃されました！

ダイビング中に影が見えたため、ラッキーな人は一緒に泳げたのだそうです！うらやましい！

7月17日の午前、場所はタヒチ島のラグーン沿い、パペーテパス付近です。

例年だと早ければ6月末ごろ、遅くても7月上旬には1-2度の目撃情報がありましたが、今年は少し遅くどうしたのかなあ〜？と思っていたところでした。

今回目撃されたのは、1頭のみで、ちょっと若そうな鯨だったそうです。

フレンチポリネシアでは、ホエールウォッチングで有名なルルツ島だけではなく、タヒチ島やモーレア島などでも鯨を見ることができるのです♪

タヒチで見られる鯨は、ハンプバックホエール、日本名をザトウクジラといいます。

大人になると、オスで13m、メスで13.5mにもなる鯨です。

沖縄の慶良間諸島などで見ることのできる鯨と同じ種類ですが、南半球のタヒチには、南極付近から暖かい海水を求めて子育てに来る鯨を、7月頃から10月頃まで見ることができます。

シーズン中には、海の中ではオスの歌・・・低く、長く、時に高く、本当に歌うようです。ちょっと物悲しい響きがロマンチック！求愛のためと言われていますが、まだ謎なのだそうです！

若い鯨が競うようにブリーチ（大きなジャンプ）を決め、母鯨が子鯨のおなかを鼻先でそっと押しやり、呼吸を助ける・・・そんな光景を・・・見ることが
できる「かもしれない」！

（筆者は5回くらい参加していて、1回は上記すべて見られましたが、残り4回は距離が遠かった・・・。私は運が無いほうですので、参考にはどうか・・・？）

ホテルからでもリーフ外洋に目をやれば、見られる可能性もありますが、やはり一番近くで見ることができるのは「ホエールウォッチング」に参加することです。

タヒチには、鯨からの半径50mには近づいてはいけない、という規則があるものの、好奇心旺盛な子鯨は、あっという間に近くに・・・なんていうこともしばしば。

そんな子鯨を、下からずーっと、母クジラが目で見ているのです。

ようやく到達した鯨。ベビーも、すぐに見られるといいですね～。

ホエール・ウォッチング・ツアー：不定期催行。催行日や料金等はタヒチヌイトラベルまでお問い合わせ下さい。



